

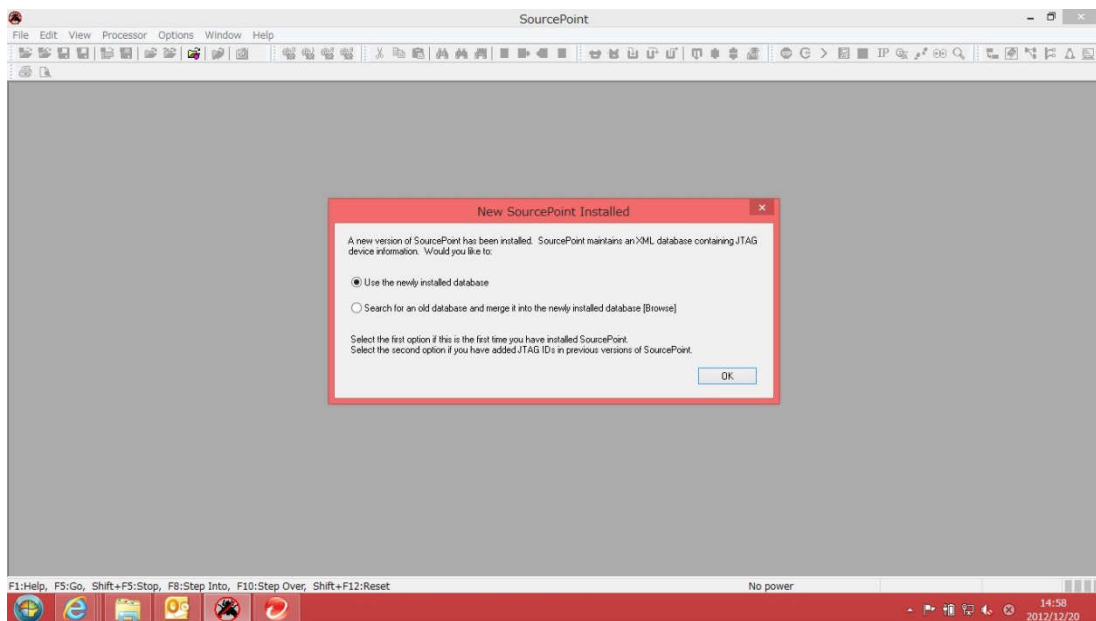
## SourcePoint 7.10 の起動手順

以下に SourcePoint 7.10 の起動手順を示します。

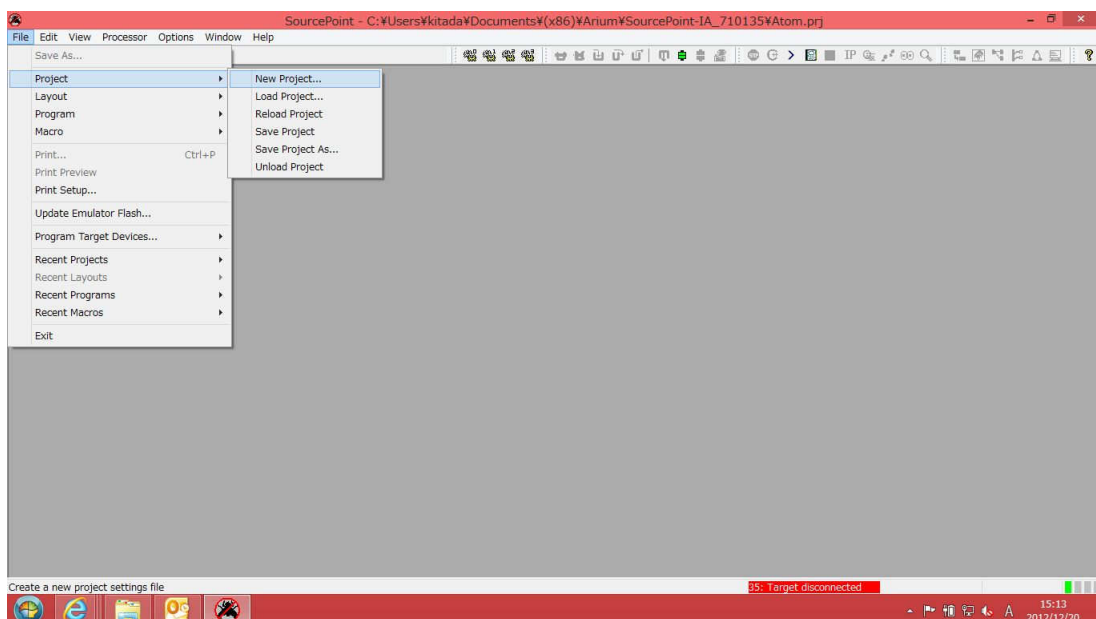
1. ターゲットおよび ECM-XDP3 は、電源 OFF の状態で、ターゲット、ECM-XDP3 およびホスト PC を接続します。接続したら ECM-XDP3 の電源を ON します。(ターゲットの電源は、OFF のまま)
2. SourcePoint 7.10 を起動します。インストール直後は、以下 Window が表示されます。通常は、“Use the newly installed database”を選択してください。

“Use the newly installed database”

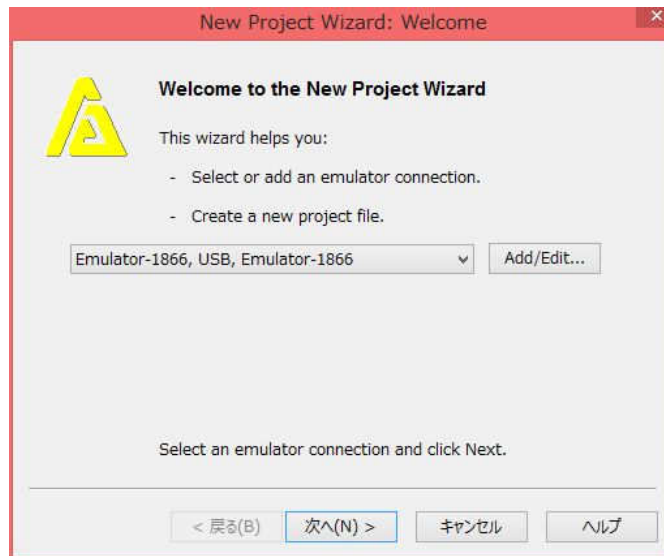
“Search for an old database and merge it into the newly installed database [Browse]”



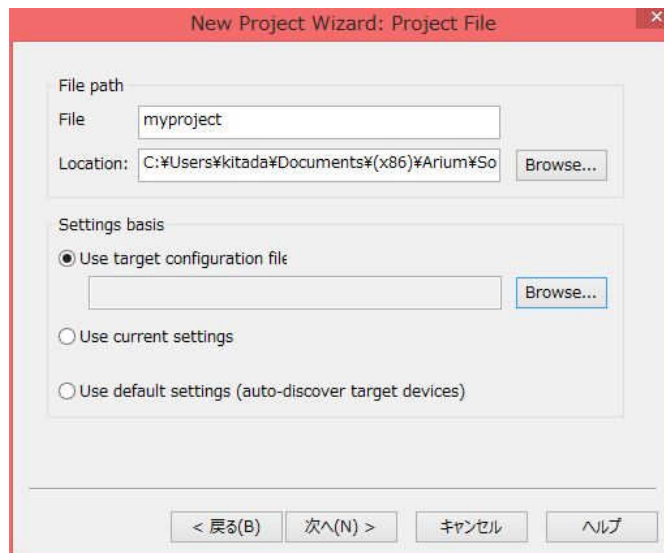
3. File メニュー→Project→New Project...を選択し、New Project Wizard: Welcome を開きます。



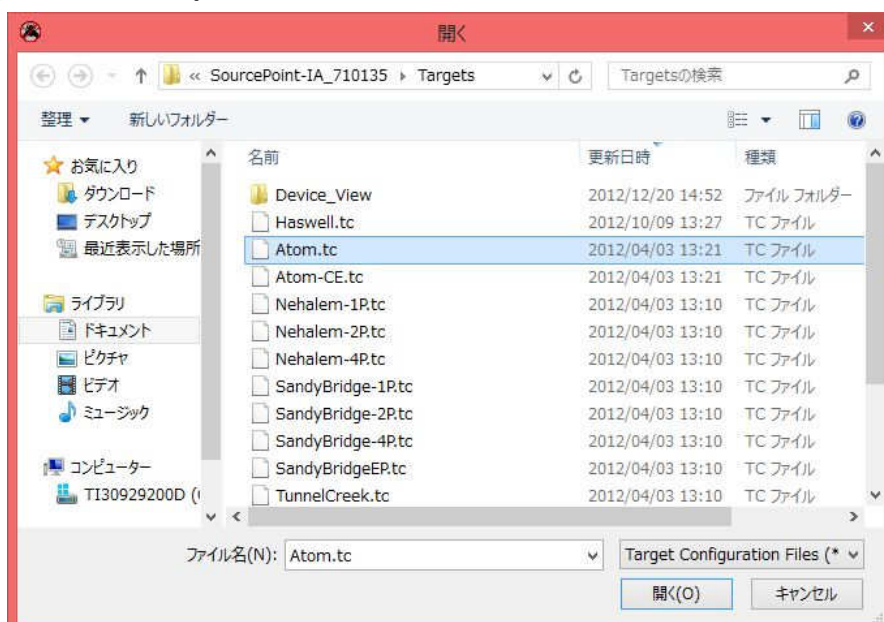
4. New Project Wizard: Welcome が開かれたら、“次へ(N)>” をクリックします。



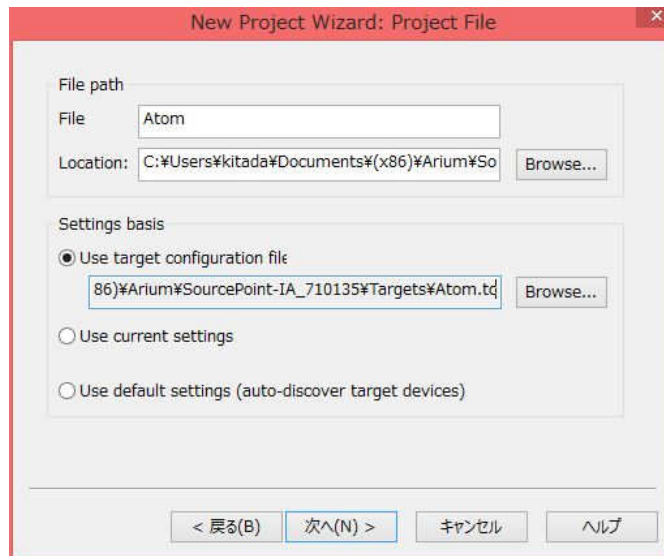
5. New Project Wizard: Project File が開かれますので、Use target configuration file の”Browse...”をクリックします。



6. 以下 Window が開かれますので、ターゲットのプロセッサコアに合った適切な TC(Target Configuration) ファイルを選択してください。



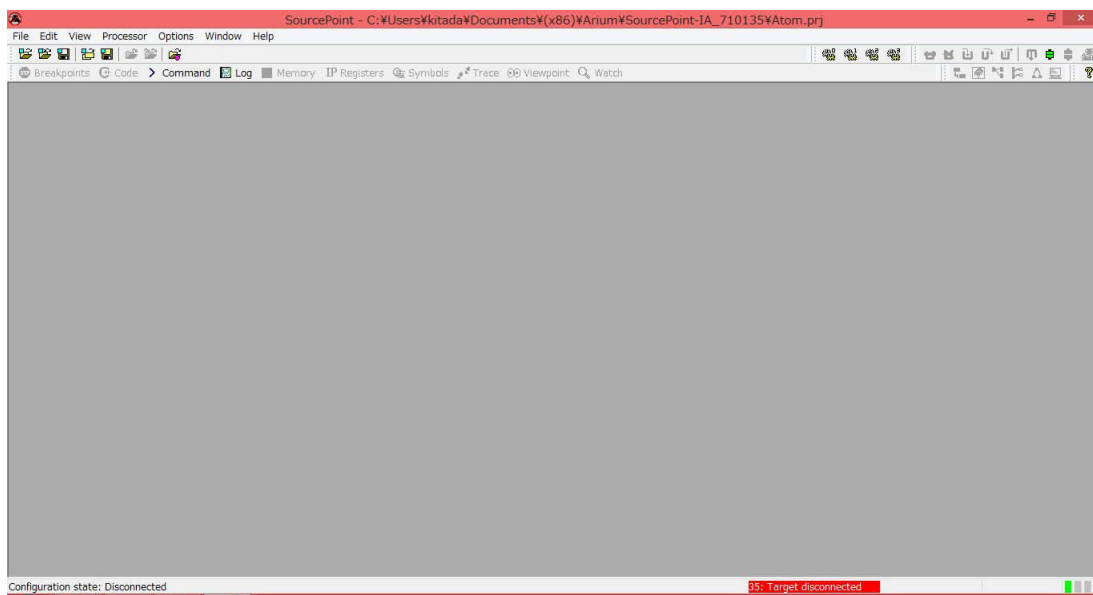
7. 以下の様に New Project Wizard: Project File に戻ったら、“次へ(N)>” をクリックします。



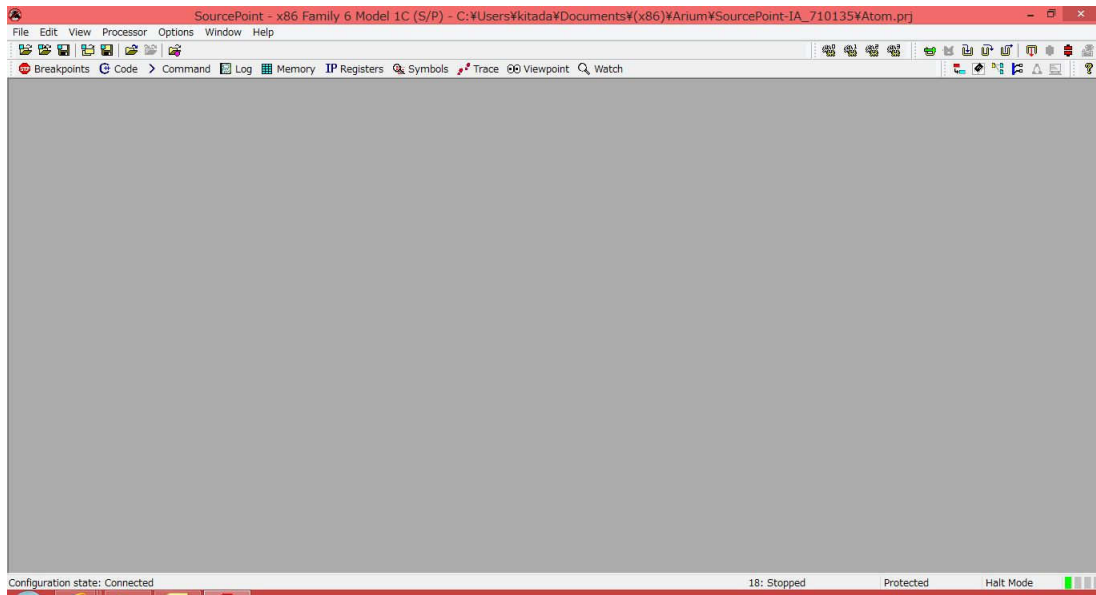
8. 数秒すると以下メッセージが表示されますので、“OK”をクリックしてください。



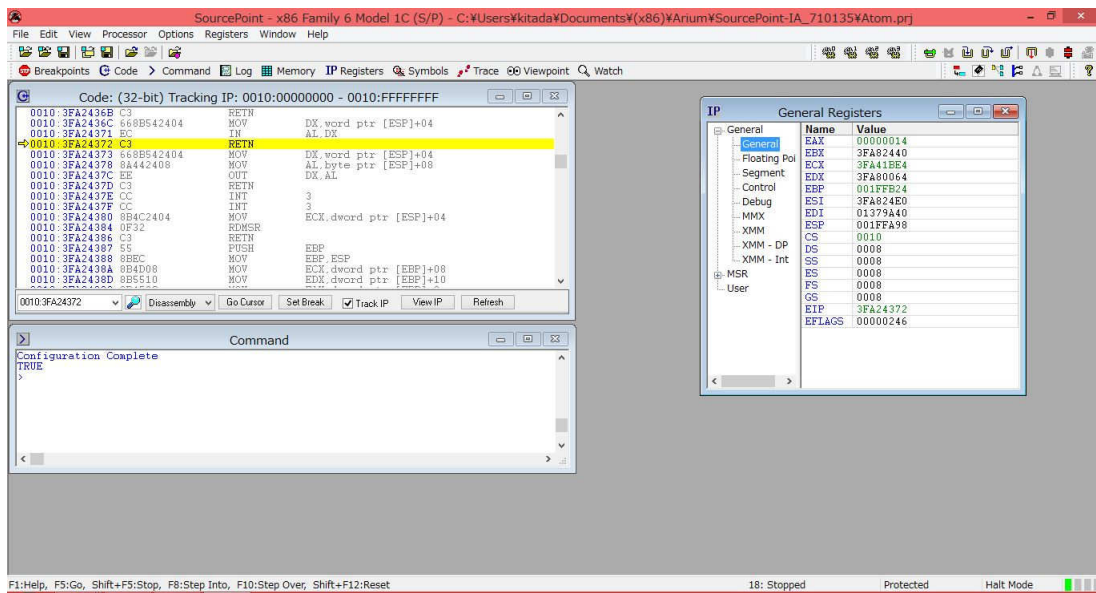
9. 以下の様に “35: Target Disconnected” (Window 右下) の状態になります。



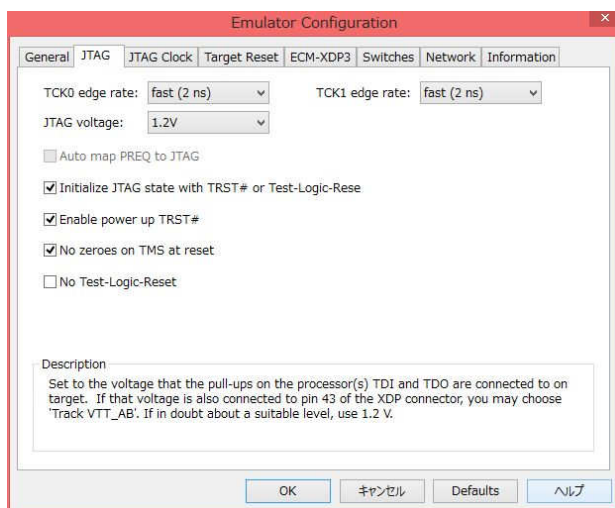
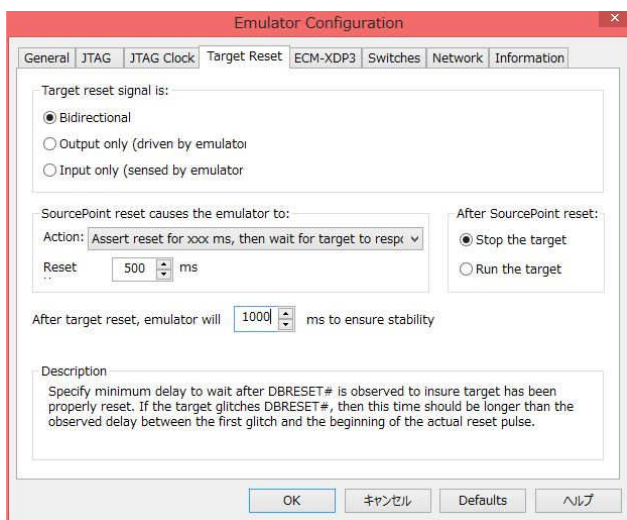
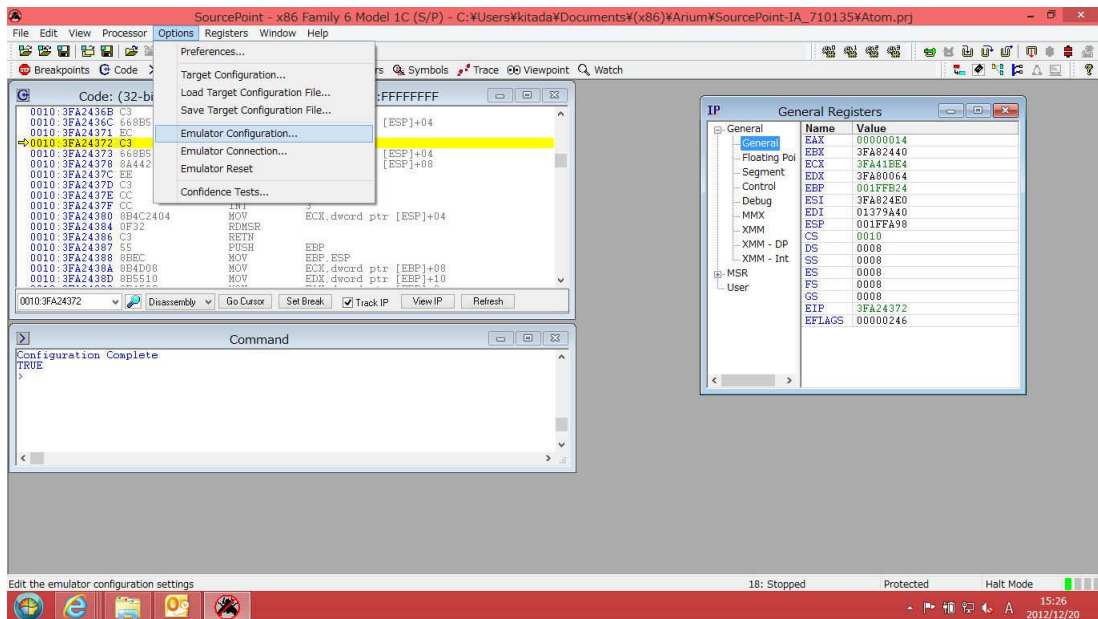
10. ここで、ターゲットを電源 ON し、Reconnect アイコン(Reconnect to Target)をクリックします。すると”18: Stopped”になり、ターゲットと接続されたことが確認できます。



11. ViewメニューからCode、Register、Commandなどの必要なWindowを開きます。



- 1 2. また、必要であれば Options メニュー→Emulator Configuration から、JTAG タブ、Target Reset タブなどの各設定を変更してください。



- 1 3. SourcePoint を終了する際には、以下メッセージが表示されますので、設定を保存したい場合には、”Yes”をクリックし、上書き確認のメッセージが表示されたら、”はい(Y)”をクリックしてください。

